



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 高砂香料工業株式会社
 コード番号 4914 URL <https://www.takasago.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榊村 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 笠松 弘典 (TEL) 03-5744-0523
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	150,516	6.3	5,837	△8.2	6,764	0.7	4,772	△31.8
2018年3月期	141,592	3.5	6,358	△11.2	6,720	△13.2	7,000	10.7

(注) 包括利益 2019年3月期 128百万円(△99.0%) 2018年3月期 12,298百万円(77.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	241.67	—	4.9	3.6	3.9
2018年3月期	354.66	—	7.7	3.7	4.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 355百万円 2018年3月期 146百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	186,214	97,396	51.5	4,859.83
2018年3月期	189,772	98,402	51.0	4,907.21

(参考) 自己資本 2019年3月期 95,977百万円 2018年3月期 96,874百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	6,113	△5,816	△2,180	14,312
2018年3月期	8,478	△7,187	△3,973	16,149

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00	1,085	15.5	1.2
2019年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00	987	20.7	1.0
2020年3月期(予想)	—	25.00	—	40.00	65.00		42.8	

(注) 2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭、記念配当 15円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	156,000	3.6	2,500	△57.2	2,600	△61.6	3,000	△37.1	151.93

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）PT.Takasago International Indonesia、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2019年3月期	20,152,397株	2018年3月期	20,152,397株
2019年3月期	403,381株	2018年3月期	411,155株
2019年3月期	19,746,156株	2018年3月期	19,739,805株

(参考) 個別業績の概要

2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	65,499	4.0	1,769	△7.8	3,357	△3.8	3,455	8.7
2018年3月期	62,977	2.6	1,919	19.0	3,490	4.6	3,178	3.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	175.00	—
2018年3月期	161.02	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2019年3月期	133,730		69,407		51.9	3,514.48		
2018年3月期	136,655		68,463		50.1	3,468.04		

(参考) 自己資本 2019年3月期 69,407百万円 2018年3月期 68,463百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2019年5月23日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や設備投資は底堅く推移し、個人消費についても、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、総じて見れば着実な成長が続いているものの、米国の保護主義政策に起因する通商問題や英国のEU離脱問題、中国経済の減速など、依然として先行きが不透明な状況となっております。

香料業界においては、競合他社との競争環境は一段と厳しさを増しておりますが、市場としては、中国や東南アジアでの成長が引き続き期待できる一方、成熟市場である欧米でも底堅い成長が見込まれます。

このような中、当社グループは「地球環境に配慮し、地域社会を大切にしたい、世界の人々から共感を得られる企業を目指す」、「信頼される商品を生産し続けることにより、グローバル市場でのトップクラスの香料会社を目指す」の経営基本方針の下、創業100周年を迎える2020年に向けて飛躍的な成長を目指し、当社グループの有する全ての力を集結し、グループ一丸となって中期経営計画『TAKASAGO GLOBAL PLAN (One-T)』(2018-2020年度)に取り組んでおります。

当連結会計年度の売上高は、前期比6.3%増の150,516百万円となりました。部門別売上高では、フレーバー部門は、ドイツ子会社においてバニラ関連製品等が伸長し、前期比8.8%増の90,656百万円、フレグランス部門は、シンガポール子会社等において柔軟剤向けが堅調に推移し、前期比2.5%増の39,149百万円、アロマイングリディエント部門は、全般的な需給逼迫の影響に加え、市場価格の高騰により、主力品メントール等が好調に推移し、前期比12.2%増の12,802百万円、ファインケミカル部門は、医薬品中間体が前期を下回ったこと等により、前期比10.8%減の6,466百万円となりました。その他不動産部門は、前期比0.1%増の1,442百万円となりました。

利益面では、営業利益は前期比8.2%減の5,837百万円、経常利益は前期比0.7%増の6,764百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比31.8%減の4,772百万円となりました。

セグメントにつきましては、日本は、当社のフレーバー部門及び国内子会社が堅調に推移し、売上高は67,694百万円(前期比3.6%増)となったものの、当社における原料高騰の影響等により、営業利益は2,549百万円(前期比3.1%減)となりました。米州は、米国子会社のフレーバー部門が好調に推移し、売上高は32,895百万円(前期比1.7%増)となったものの、フレグランス部門における原料高騰の影響等により、営業損失は94百万円(前期は営業利益610百万円)となりました。欧州は、ドイツ子会社に加え、アロマイングリディエント事業のスペイン子会社が好調に推移し、売上高は25,453百万円(前期比15.3%増)、営業利益は1,679百万円(前期比37.2%増)となりました。アジアは、シンガポール子会社の伸長に加え、中国子会社も堅調に推移したことにより、売上高は24,473百万円(前期比12.2%増)となったものの、当該各子会社のフレグランス部門における原料高騰が響いて、営業利益は1,405百万円(前期比20.7%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して3,558百万円減少し、186,214百万円となりました。主なものは、有形固定資産の減少2,278百万円、投資有価証券の減少2,495百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して2,552百万円減少し、88,817百万円となりました。主なものは、長期借入金金の減少2,271百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,006百万円減少し、97,396百万円となりました。主なものは、利益剰余金の増加3,686百万円、為替換算調整勘定の減少2,043百万円、その他有価証券評価差額金の減少1,449百万円、退職給付に係る調整累計額の減少1,117百万円であります。

以上により、自己資本比率は51.0%から51.5%に増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より1,836百万円減少し、14,312百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、6,113百万円となりました。主なものは、税金等調整前当期純利益6,842百万円、減価償却費6,196百万円、たな卸資産の増加4,428百万円であります。

投資活動による資金の流出は、5,816百万円となりました。主なものは、有形固定資産の取得による支出4,653百万円あります。

財務活動による資金の流出は、2,180百万円となりました。主なものは、長期借入れによる収入5,350百万円、長期借入金の返済による支出7,151百万円あります。

（4）今後の見通し

当社グループは、昨年度より中期経営計画『TAKASAGO GLOBAL PLAN (One-T)』（2018-2020年度）に取り組んでおります。「顧客満足度向上」、「事業成長戦略推進」、「技術革新」、「利益体質改善」、「人材開発」の5つのグループ基本方針の中心に「コーポレート」という概念を据えて、グローバル企業として必要な基準、仕組みを統一、整備し、ガバナンスの強化、グローバル機能の向上に努めてまいります。これらの基本方針を通じ、グローバル市場でのトップクラスの香料会社を目指してまいります。

2020年3月期の連結業績は、売上高156,000百万円（前期比3.6%増）、営業利益2,500百万円（前期比57.2%減）、経常利益2,600百万円（前期比61.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益3,000百万円（前期比37.1%減）としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,149	14,312
受取手形及び売掛金	34,408	34,183
商品及び製品	19,862	22,376
仕掛品	91	142
原材料及び貯蔵品	15,164	16,363
その他	6,396	7,150
貸倒引当金	△237	△215
流動資産合計	91,835	94,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,004	69,971
減価償却累計額	△37,714	△39,144
建物及び構築物 (純額)	32,290	30,826
機械装置及び運搬具	63,367	64,753
減価償却累計額	△49,709	△51,416
機械装置及び運搬具 (純額)	13,657	13,337
工具、器具及び備品	12,797	13,121
減価償却累計額	△9,820	△10,321
工具、器具及び備品 (純額)	2,977	2,800
土地	7,331	7,578
建設仮勘定	2,305	1,741
有形固定資産合計	58,562	56,283
無形固定資産	1,734	1,128
投資その他の資産		
投資有価証券	32,830	30,334
出資金	215	319
退職給付に係る資産	1,552	688
繰延税金資産	1,856	2,014
その他	1,602	1,524
貸倒引当金	△417	△395
投資その他の資産合計	37,639	34,486
固定資産合計	97,937	91,899
資産合計	189,772	186,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,380	15,488
短期借入金	17,978	19,142
1年内返済予定の長期借入金	6,779	6,878
1年内償還予定の社債	540	340
未払法人税等	1,134	1,488
賞与引当金	1,761	1,828
役員賞与引当金	27	27
その他	9,134	7,749
流動負債合計	52,736	52,945
固定負債		
社債	1,100	760
長期借入金	23,523	21,252
繰延税金負債	5,490	4,408
役員退職慰労引当金	3	5
退職給付に係る負債	7,653	8,580
その他	862	866
固定負債合計	38,633	35,872
負債合計	91,370	88,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,248	9,248
資本剰余金	8,368	8,378
利益剰余金	62,994	66,680
自己株式	△921	△903
株主資本合計	79,690	83,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,406	15,956
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△595	△2,638
退職給付に係る調整累計額	373	△744
その他の包括利益累計額合計	17,184	12,573
非支配株主持分	1,528	1,419
純資産合計	98,402	97,396
負債純資産合計	189,772	186,214

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	141,592	150,516
売上原価	96,743	104,786
売上総利益	44,849	45,730
販売費及び一般管理費	38,490	39,892
営業利益	6,358	5,837
営業外収益		
受取利息	113	155
受取配当金	411	448
持分法による投資利益	146	355
為替差益	—	197
その他	496	558
営業外収益合計	1,168	1,716
営業外費用		
支払利息	504	578
為替差損	143	—
その他	158	211
営業外費用合計	807	789
経常利益	6,720	6,764
特別利益		
固定資産売却益	12	9
投資有価証券売却益	396	1,143
特別利益合計	409	1,152
特別損失		
固定資産処分損	67	158
減損損失	—	916
特別損失合計	67	1,075
税金等調整前当期純利益	7,062	6,842
法人税、住民税及び事業税	1,600	2,149
法人税等調整額	△1,650	△138
法人税等合計	△49	2,011
当期純利益	7,111	4,830
非支配株主に帰属する当期純利益	110	58
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000	4,772

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	7,111	4,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,016	△1,449
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	1,140	△2,063
退職給付に係る調整額	88	△1,123
持分法適用会社に対する持分相当額	△59	△67
その他の包括利益合計	5,186	△4,702
包括利益	12,298	128
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,148	161
非支配株主に係る包括利益	150	△32

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,358	56,980	△929	73,658
当期変動額					
剰余金の配当			△986		△986
親会社株主に帰属する当期純利益			7,000		7,000
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分		10		12	22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10	6,013	7	6,031
当期末残高	9,248	8,368	62,994	△921	79,690

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	13,391	△0	△1,640	287	12,036	1,516	87,211
当期変動額							
剰余金の配当							△986
親会社株主に帰属する当期純利益							7,000
自己株式の取得							△4
自己株式の処分							22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,015	0	1,045	85	5,147	12	5,159
当期変動額合計	4,015	0	1,045	85	5,147	12	11,191
当期末残高	17,406	△0	△595	373	17,184	1,528	98,402

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,248	8,368	62,994	△921	79,690
当期変動額					
剰余金の配当			△1,085		△1,085
親会社株主に帰属する当期純利益			4,772		4,772
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		9		19	29
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	9	3,686	17	3,713
当期末残高	9,248	8,378	66,680	△903	83,403

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	17,406	△0	△595	373	17,184	1,528	98,402
当期変動額							
剰余金の配当							△1,085
親会社株主に帰属する当期純利益							4,772
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							29
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,449	0	△2,043	△1,117	△4,610	△108	△4,719
当期変動額合計	△1,449	0	△2,043	△1,117	△4,610	△108	△1,006
当期末残高	15,956	—	△2,638	△744	12,573	1,419	97,396

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,062	6,842
減価償却費	5,792	6,196
減損損失	—	916
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△52	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	437	327
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△112	△205
受取利息及び受取配当金	△525	△604
支払利息	504	578
投資有価証券売却損益 (△は益)	△396	△1,143
固定資産処分損益 (△は益)	54	149
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,474	△438
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,518	△4,428
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,338	487
その他	△484	△1,081
小計	9,626	7,583
利息及び配当金の受取額	600	617
利息の支払額	△509	△580
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,538	△1,805
補助金の受取額	300	300
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,478	6,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,695	△4,653
有形固定資産の売却による収入	33	17
無形固定資産の取得による支出	△286	△442
投資有価証券の取得による支出	△26	△26
投資有価証券の売却による収入	403	1,199
非連結子会社株式の取得による支出	△110	△975
貸付けによる支出	△1,663	△939
貸付金の回収による収入	170	0
その他	△12	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,187	△5,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,259	1,353
長期借入れによる収入	2,686	5,350
長期借入金の返済による支出	△6,431	△7,151
社債の償還による支出	△340	△540
自己株式の取得による支出	△4	△2
配当金の支払額	△986	△1,086
非支配株主への配当金の支払額	△138	△75
その他	△18	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,973	△2,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	△439
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,637	△2,323
現金及び現金同等物の期首残高	18,786	16,149
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	486
現金及び現金同等物の期末残高	16,149	14,312

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」が1,389百万円減少し、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」が402百万円増加しております。また、「固定負債」の「繰延税金負債」が987百万円減少しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が987百万円減少しております。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に香料を製造・販売しており、提出会社、国内子会社、在外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各会社において戦略を立案し、事業活動を展開しております。

各会社を報告セグメントとした場合、非常に多数の報告セグメントが開示されることとなるため、経済的特徴や製品及びサービスの内容等を鑑み、当社は、地域別に「日本」「米州」「欧州」及び「アジア」の4つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、香料事業の製造・販売を主な事業内容として、さらに各事業に関連する研究及び不動産賃貸、その他の活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	65,340	32,359	22,083	21,809	141,592	—	141,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,020	453	2,341	308	15,125	△15,125	—
計	77,361	32,812	24,425	22,117	156,718	△15,125	141,592
セグメント利益	2,631	610	1,224	1,771	6,237	120	6,358
セグメント資産	125,580	23,508	26,813	26,737	202,640	△12,867	189,772
その他の項目							
減価償却費	3,172	829	826	964	5,792	—	5,792
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,747	483	1,464	657	6,354	—	6,354

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額120百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額209百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△85百万円、及びその他△2百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△12,867百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△11,988百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△888百万円、及びその他9百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	67,694	32,895	25,453	24,473	150,516	—	150,516
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,278	419	3,212	295	17,205	△17,205	—
計	80,972	33,314	28,665	24,768	167,722	△17,205	150,516
セグメント利益又は損失 (△)	2,549	△94	1,679	1,405	5,539	298	5,837
セグメント資産	121,862	21,877	28,177	27,030	198,947	△12,733	186,214
その他の項目							
減価償却費	3,409	830	963	992	6,196	—	6,196
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,485	413	1,096	518	4,514	—	4,514

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額298百万円には、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額247百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額50百万円、及びその他0百万円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額△12,733百万円には、セグメント間取引に係る内部取引の調整額△12,106百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△822百万円、及びその他195百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	4,907円21銭	4,859円83銭
1株当たり当期純利益	354円66銭	241円67銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	7,000	4,772
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	7,000	4,772
普通株式の期中平均株式数 (千株)	19,739	19,746

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当連結会計年度末 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	98,402	97,396
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,528	1,419
(うち非支配株主持分 (百万円))	(1,528)	(1,419)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	96,874	95,977
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	19,741	19,749

(重要な後発事象)

該当事項はありません。